

ファイル4 住民参加

【現況・課題と解決の方向性(案)】

今回のアンケートでも、自治会や各種団体の役員、有志のボランティアなど、一部に活動の負担がかかっているとの指摘があります。ともするとまちづくりには受け身になりがちになり、動員されて仕方なく参加する傾向に陥りがちです。

地域の環境改善やサービスの受益者として、また地域自治の一員として、広く地域活動への参加が望まれます。

一方、高齢化や子育て、仕事などそれぞれの事情によって、参加できる時間や活動内容に、制約が生ずることは否定できません。

一人ひとりが、個人のレベルで参加しやすい地域活動やボランティア活動について、理解を深め合い、日常習慣として浸透させることも必要でしょう。

自分でできる活動を各自が選択し、参加する「この指とまれ方式」のまちづくり活動にはどんなものがあるのでしょうか。具体的にいくつか例示してみましょう。

アンケートに寄せられた子どもたちが描く都会的なまちの実現には、都市環境のハードの整備とともに、地域に関心を持ち、より良いまちにしようというみんなの思いが欠かせません。地域の居住環境を向上させ、住民力・地域力を高めることとなります。一人ひとりが、かかわりを持ち、社会貢献を実感できるような活動の日常習慣化…そんなまちづくりの輪を10年間かけてでも、地域に広げめことが大切ではないでしょうか。

ステッカーなどグッズの活用



趣味から始める「まちづくり塾」開講・・・？

- ・花飾り講座
- ・故郷の歴史講座
- ・鳥羽川講座
- などなど



●道路は、最も身近な公共空間です。

●ながら・まちづくり隊員募集？！

覚えていますか…？

家の前を掃き清め、打ち水し、花を飾る…古くからの習慣として美しい日本のまちを演出してきました。まちづくり”という言葉が使われる前から、みんながまちづくりに参加・実践をしていました。無理なく、日常習慣化できれば、これも立派なまちづくりです。



●ウォーキングゴミ拾い隊

毎日の散歩のついでにゴミ拾い…今回のアンケートでも提案の声が上がりました。

●リンリン啓発隊

他の地区で、自転車のかごに防犯などの啓発ステッカーを掲示する取り組みがあります。

●わんわんパトロール隊

他の地区で、散歩中の犬にパトロール中のバシダナ・リードなどを使う取り組みがあります。